



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔米国会計基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野路 國夫

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 浦野 邦子

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	859,763	33.1	103,912	425.2	100,111	442.5	63,764	677.8
22年3月期第2四半期	645,963	△46.7	19,785	△87.6	18,452	△88.2	8,198	△91.8

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	65.89	65.85
22年3月期第2四半期	8.47	8.47

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	1,922,505	886,239	842,977	43.8	871.06
22年3月期	1,959,055	876,799	833,975	42.6	861.51

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
23年3月期	—	18.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,760,000	22.9	200,000	198.4	192,000	195.5	120,000	257.6	124.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、添付資料6ページ 2. その他の情報 をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 998,744,060株 22年3月期 998,744,060株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 30,981,787株 22年3月期 30,704,084株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 967,794,257株 22年3月期2Q 967,972,490株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）平成 23 年 3 月期第 2 四半期（3 ヲ月）の連結業績（平成 22 年 7 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3 ヲ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
23 年 3 月期第 2 四半期	412,623	26.8	49,837	332.9	50,007	414.3	33,067	862.6
22 年 3 月期第 2 四半期	325,535	△46.1	11,512	△84.9	9,724	△84.8	3,435	△91.9

	1 株 当 たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 2 四半期	34.17	34.15
22 年 3 月期第 2 四半期	3.55	3.55

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 6
（1）当四半期中における重要な子会社の異動	P. 6
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 連結財務諸表等	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書	P. 9
（3）四半期連結純資産計算書	P. 11
（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
（5）継続企業の前提に関する注記	P. 13
（6）セグメント情報	P. 13
（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、本年 4 月より 3 カ年の中期経営計画「Global Teamwork for Tomorrow」をスタートし、①製品・部品の ICT（情報通信技術）化の推進、②環境対応・安全性向上の商品開発、③中国、アジア、中南米など「戦略市場」における販売・サービス体制の拡充、④現場力の強化による継続的な改善の推進を重点項目として活動を開始しました。

本中期経営計画の初年度となる 2011 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間（2010 年 4 月 1 日から 2010 年 9 月 30 日まで）においては、各国の継続的な景気刺激策の効果から、主に中国などの新興国経済が順調に回復しました。建設・鉱山機械の需要は、「戦略市場」のみならず、「伝統市場」である日本、北米、欧州においても緩やかに回復をみせ、各地域で前年同期を上回り、また産業機械の需要も回復に向かいました。

この市場の伸びをとらえ、連結売上高は 8,597 億円（前年同期比 33.1%増）となりました。利益につきましては、為替が米ドル、ユーロ、人民元に対し大幅に円高となったものの、売上げ数量が増加したことに加え、生産性の向上に努めた結果、営業利益は 1,039 億円（前年同期比 425.2%増、売上高営業利益率は前年同期に比べ 9 ポイント上回る 12.1%）、税引前四半期純利益は 1,001 億円（前年同期比 442.5%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は 637 億円（前年同期比 677.8%増）と、それぞれ前年同期を大幅に上回りました。

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて 2010 年 4 月から 9 月までの 6 カ月間の累計です。

（金額単位：百万円）

	当第 2 四半期 連結累計期間 [A] 自 2010. 4. 1 至 2010. 9. 30 1ドル = 88 円 1ユーロ = 113 円 1元 = 13.0 円	前第 2 四半期 連結累計期間 [B] 自 2009. 4. 1 至 2009. 9. 30 1ドル = 95 円 1ユーロ = 133 円 1元 = 13.9 円	増減率 % [(A-B)/B]
売上高	859,763	645,963	33.1
営業利益	103,912	19,785	425.2
税引前四半期純利益	100,111	18,452	442.5
当社株主に帰属する四半期純利益	63,764	8,198	677.8

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門では、「戦略市場」の中長期的成長を見込み、生産能力の増強、販売・プロダクトサポート体制の強化などに引き続き注力するなか、需要は、中国、アジア、中南米などで高い水準で推移するとともに、「伝統市場」である日本、北米、欧州においても緩やかに回復しました。このグローバルな需要の回復を着実にとらえ、売上高は 7,636 億円（前年同期比 34.1%増）となりました。

建設機械・車両部門の地域別売上高

（金額単位：百万円）

	当第 2 四半期 連結累計期間 [A] 自 2010. 4. 1 至 2010. 9. 30	前第 2 四半期 連結累計期間 [B] 自 2009. 4. 1 至 2009. 9. 30	増 減	
			金 額 [A-B]	増減率 % [(A-B)/B]
日本	117,405	106,509	10,896	10.2
米州	190,252	143,277	46,975	32.8
欧州・CIS	71,746	58,849	12,897	21.9
中国	152,806	104,556	48,250	46.1
アジア※・オセアニア	181,869	117,362	64,507	55.0
中近東・アフリカ	49,567	39,052	10,515	26.9
合計	763,645	569,605	194,040	34.1

※日本および中国を除く

<日本>

日本では、政府による経済対策効果で公共投資が底堅く推移し、民間設備投資も堅調だったことから、需要は緩やかながら回復に向かいました。特にレンタル向けを中心に需要が伸長し、売上げは前年同期を上回りました。

日本国内の工場は、主に戦略市場での需要が好調に推移したことにより、エンジン、油圧機器など主要コンポーネントの生産を中心に工場の稼働率が上昇しました。また今後の需要の拡大を見込み、コマツキャストクス（株）（富山県氷見市）の新工場を竣工し、エンジン部品などの素材である鋳鉄品の生産能力の増強を行いました。

<米州>

北米では、景気の本格的回復には至らず、住宅工事向けの需要は低調だったものの、建設機械の稼働率は徐々に上がり、レンタル会社の保有資産の適正化が進んだことなどから、需要は前年同期比で増加しました。中南米では、チリの鉱山向け需要が大きく伸長し、また最大市場であるブラジルで鉱山・土木機械・農業など各分野で需要が引き続き好調に推移しました。この市場回復に加え、中南米の鉱山向けに販売・プロダクトサポート活動を強化した結果、米州の売上げは前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

当期に入り、需要の下げ止まりを見せ始めた欧州市場は、ドイツ、イギリスを中心に西欧で需要が緩やかに回復しました。この市場回復に加え、販売代理店との連携により、プロダクトサポートの強化や部品の販売拡大などに努め、売上げは前年同期を上回りました。CISにおいては、天然資源開発向けの鉱山機械を中心に需要が伸長し、売上げは前年同期を上回りました。

このような状況の中、本年6月に竣工したコマツロシア製造（有）では、豊富な天然資源の開発を背景と

した鉱山機械の中長期的需要を取り込むため、2011 年度下期に大型ダンプトラック HD785 の生産を開始することを決定しました。現地生産機種種の拡充により、物流コストや在庫の削減、プロダクトサポート体制の更なる充実につなげていきます。

<中国>

中国では、政府主導による都市化の推進やインフラ整備が継続したことにより、需要は引き続き増加し、売上げは前年同期を上回りました。また、露天掘りの鉱山開発が進む中、コマツアメリカ（株）で生産する超大型ダンプトラック 930E を 44 台を新たに受注するなど、鉱山向けの受注が好調に推移しました。

コマツグループでは、今後の安定的な市場拡大を見込み、小松（常州）建機会社の工場移転、小松（山東）鑄鋼有限公司の稼働準備、大手鉱山向けの販売・サポートを行う小松（中国）鉱山設備有限公司の設立や、KG テクノセンターの開所に向けた準備など、生産、販売・プロダクトサポート両面での体制の拡充に注力しました。

<アジア・オセアニア>

東南アジアでは、最大市場であるインドネシアで鉱山向けの需要が引き続き伸長するとともに、土木建設・農業・林業分野も堅調に推移し、インド、タイ、マレーシアでも需要が好調に推移しました。また、オーストラリアでは鉱山向けの需要が引き続き堅調に推移しました。これらの市場環境を背景として、特にアジアでの売上げが大きく伸長した結果、アジア・オセアニアの売上げは前年同期を上回りました。アジア地域においては、KOMTRAX を標準装備した建設機械の導入地域の拡大に注力し、またオーストラリアでは、代理店機能の更なる充実をねらい、本年 8 月にコマツオーストラリア（株）を分社化し、組織再編を進めるなど、販売・プロダクトサポート体制の強化に引き続き取り組みました。

<中近東・アフリカ>

中近東・アフリカでは、景気が回復に向かいつつあることに加え、資源価格が緩やかながらも上昇し、鉱山分野を中心に需要が堅調に推移した結果、売上げは前年同期を上回りました。これら鉱山開発やインフラ整備の回復に伴い、今後市場は拡大する見通しであり、アフリカでは前期のセネガルに続き、本年 4 月にケニアにおいても代理店と共同でトレーニングセンターを新設するなど、プロダクトサポート体制の確立に取り組みました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、太陽電池市場向けに中国を中心としたアジア地域で引き続き設備投資が好調に推移し、シリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソーの販売が大きく伸長したことなどにより、売上高は 961 億円（前年同期比 25.9%増）となりました。また、中国、インド、ブラジルなどの「戦略市場」において、自動車業界の設備投資が回復に向かったことから、大型プレス等の受注が増加に転じました。

このような市場環境のもと、当事業部門においては更に競争力を高めるため、コマツ NTC（株）ではワイヤーソーなどの生産能力増強のための新工場建設を決定し、また、プレス事業に関して大型から中小型までの開発や販売・サービス機能をコマツ産機（株）へ集中する組織再編を行うなど、事業体制の強化に努めました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期末の総資産は、為替が円高に推移したことなどにより、前期末に比べ 365 億円減の 1 兆 9,225 億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ 604 億円減の 5,259 億円となりました。株主資本は、前期末に比べ 90 億円増の 8,429 億円となり、株主資本比率は前期末に比べ 1.2 ポイント増の 43.8%となりました。ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の 0.60 に対して、0.52 となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

当第 2 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、四半期純利益の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ 153 億円増加し、1,028 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、355 億円の支出（前年同期比 95 億円の支出減）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期債務の返済等により 542 億円の支出（前年同期比 160 億円の支出増）となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の当第 2 四半期末残高は、前期末に比べ 82 億円増加して、906 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

建設機械・車両部門においては、需要が各地域で引き続き好調を維持しており、これに伴う販売数量の増加を背景として生産性の更なる向上も見込まれます。また、産業機械他部門においては、特にワイヤーソーの販売が当期に入り急速に拡大しています。これらにより、為替が米ドルならびに人民元に対し円高となるマイナス要因があるものの、売上高、利益ともに本年7月に公表しました業績予想値を上回る見通しとなりました。

なお、本業績予想値の前提となる第3四半期以降の為替レートは、1米ドル＝82円、1ユーロ＝114円、1人民元＝12.3円です。

2011 年 3 月期（通期）の連結業績の見通し

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想 (A)	1,715,000	179,000	171,000	105,000
今回修正予想 (B)	1,760,000	200,000	192,000	120,000
増減額 (B-A)	45,000	21,000	21,000	15,000
増減率 (%)	2.6	11.7	12.3	14.3
<参考>前期実績 (2010年3月期)	1,431,564	67,035	64,979	33,559

(参考) 個別業績予想に関する定性的情報

連結業績予想の修正と同様に、建設機械・車両部門における需要が各地域で引き続き好調を維持しており、本年7月に公表しました売上予想値を上回る見通しとなりました。損益につきましても販売数量の増加を背景とした生産性の向上などから、為替が米ドルに対し円高となるマイナス要因があるものの、前回予想値を上回る見通しとなりました。

2011 年 3 月期（通期）の個別業績の見通し

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	665,000	65,000	72,000	40,000
今回修正予想 (B)	690,000	67,000	74,000	42,000
増減額 (B-A)	25,000	2,000	2,000	2,000
増減率 (%)	3.8	3.1	2.8	5.0
<参考>前期実績 (2010 年 3 月期)	457,676	△26,829	△1,120	2,378

注：前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

2. その他の情報

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動

当第 2 四半期連結会計期間において連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	当第2四半期連結会計期間末 (2010年9月30日)		前連結会計年度末 (2010年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	90,647		82,429	
定期預金	595		1,132	
受取手形及び売掛金	408,752		447,693	
たな卸資産	412,891		396,416	
繰延税金及びその他の流動資産	124,412		112,451	
流動資産合計	1,037,297	54.0	1,040,121	53.1
長期売上債権	161,007	8.4	150,972	7.7
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	23,710		24,002	
投資有価証券	55,892		60,467	
その他	2,678		2,399	
投資合計	82,280	4.3	86,868	4.4
有形固定資産	499,542	26.0	525,100	26.8
営業権	28,623	1.5	29,570	1.5
その他の無形固定資産	58,824	3.0	61,729	3.2
繰延税金及びその他の資産	54,932	2.8	64,695	3.3
資産合計	1,922,505	100.0	1,959,055	100.0

区分	当第2四半期連結会計期間末 (2010年9月30日)		前連結会計年度末 (2010年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	84,137		123,438	
長期債務				
－1年以内期限到来分	116,436		105,956	
支払手形及び買掛金	248,449		207,024	
未払法人税等	14,910		22,004	
繰延税金及びその他の流動負債	170,638		183,324	
流動負債合計	634,570	33.0	641,746	32.7
固定負債				
長期債務	325,354		356,985	
退職給付債務	43,339		46,354	
繰延税金及びその他の負債	33,003		37,171	
固定負債合計	401,696	20.9	440,510	22.5
負債合計	1,036,266	53.9	1,082,256	55.2
(純資産の部)				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	140,476		140,421	
利益剰余金				
利益準備金	32,726		31,983	
その他の剰余金	779,362		724,090	
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 142,174		△ 95,634	
自己株式	△ 35,283		△ 34,755	
株主資本合計	842,977	43.8	833,975	42.6
非支配持分	43,262	2.3	42,824	2.2
純資産合計	886,239	46.1	876,799	44.8
負債及び純資産合計	1,922,505	100.0	1,959,055	100.0

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2009年4月 1日 至 2009年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	645,963	100.0	859,763	100.0
売上原価	505,082	78.2	629,877	73.3
販売費及び一般管理費	119,483	18.5	124,750	14.5
その他の営業収益 (△費用)	△ 1,613	△ 0.2	△ 1,224	△ 0.1
営業利益	19,785	3.1	103,912	12.1
その他の収益 (△費用)	△ 1,333		△ 3,801	
受取利息及び配当金	3,965	0.6	2,329	0.3
支払利息	△ 5,125	△ 0.8	△ 3,289	△ 0.4
その他 (純額)	△ 173	△ 0.0	△ 2,841	△ 0.3
税引前四半期純利益	18,452	2.9	100,111	11.6
法人税等	6,643	1.0	33,507	3.9
持分法投資損益調整前四半期純利益	11,809	1.8	66,604	7.7
持分法投資損益	41	0.0	1,198	0.1
四半期純利益	11,850	1.8	67,802	7.9
非支配持分損益	△ 3,652	△ 0.6	△ 4,038	△ 0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	8,198	1.3	63,764	7.4
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	8.47 円		65.89 円	
希薄化後	8.47 円		65.85 円	

(第2四半期連結会計期間)

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2009年7月 1日 至 2009年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2010年7月 1日 至 2010年9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	325,535	100.0	412,623	100.0
売上原価	252,609	77.6	300,021	72.7
販売費及び一般管理費	59,997	18.4	61,803	15.0
その他の営業収益 (△費用)	△ 1,417	△ 0.4	△ 962	△ 0.2
営業利益	11,512	3.5	49,837	12.1
その他の収益 (△費用)	△ 1,788		170	
受取利息及び配当金	2,106	0.6	1,308	0.3
支払利息	△ 2,394	△ 0.7	△ 1,620	△ 0.4
その他 (純額)	△ 1,500	△ 0.5	482	0.1
税引前四半期純利益	9,724	3.0	50,007	12.1
法人税等	4,462	1.4	16,041	3.9
持分法投資損益調整前四半期純利益	5,262	1.6	33,966	8.2
持分法投資損益	142	0.0	557	0.1
四半期純利益	5,404	1.7	34,523	8.4
非支配持分損益	△ 1,969	△ 0.6	△ 1,456	△ 0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	3,435	1.1	33,067	8.0
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	3.55 円		34.17 円	
希薄化後	3.55 円		34.15 円	

(3) 四半期連結純資産計算書

前第2四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年9月30日)

(百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前々期末残高(2009年3月31日現在)	67,870	140,092	28,472	719,222	△105,744	△34,971	814,941	33,393	848,334
現金配当				△17,431			△17,431	△1,727	△19,158
利益準備金への振替			2,309	△2,309			-	-	-
持分変動及びその他							-	1,514	1,514
包括利益(△損失)									
四半期純利益				8,198			8,198	3,652	11,850
その他の包括利益(△損失) - 税控除後									
外貨換算調整勘定					△10,953		△10,953	564	△10,389
未実現有価証券評価損益					4,274		4,274	-	4,274
年金債務調整勘定					1,782		1,782	-	1,782
未実現デリバティブ評価損益					761		761	623	1,384
計							4,062	4,839	8,901
新株予約権の付与及び行使		103					103		103
自己株式の購入等						△15	△15		△15
自己株式の売却等		△84				256	172		172
前第2四半期末残高(2009年9月30日現在)	67,870	140,111	30,781	707,680	△109,880	△34,730	801,832	38,019	839,851

当第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

(百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前期末残高(2010年3月31日現在)	67,870	140,421	31,983	724,090	△95,634	△34,755	833,975	42,824	876,799
現金配当				△7,749			△7,749	△830	△8,579
利益準備金への振替			743	△743			-	-	-
持分変動及びその他							-	317	317
包括利益(△損失)									
四半期純利益				63,764			63,764	4,038	67,802
その他の包括利益(△損失) - 税控除後									
外貨換算調整勘定					△44,877		△44,877	△3,087	△47,964
未実現有価証券評価損益					△2,398		△2,398	-	△2,398
年金債務調整勘定					77		77	-	77
未実現デリバティブ評価損益					658		658	-	658
計							17,224	951	18,175
新株予約権の付与及び行使		55					55		55
自己株式の購入等						△551	△551		△551
自己株式の売却等						23	23		23
当第2四半期末残高(2010年9月30日現在)	67,870	140,476	32,726	779,362	△142,174	△35,283	842,977	43,262	886,239

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 連結累計期間 自 2009年4月 1日 至 2009年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	11,850	67,802
四半期純利益を営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	44,427	43,432
法人税等繰延分	△ 8,845	15,621
有価証券及び投資有価証券売却損益	△ 252	90
有形固定資産売却損益	△ 251	△ 1,160
固定資産廃却損	922	634
未払退職金及び退職給付債務の増減	199	△ 3,176
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	21,396	△ 11,005
たな卸資産の増減	69,679	△ 42,960
支払手形及び買掛金の増減	△ 56,819	47,870
未払法人税等の増減	△ 4,215	△ 6,067
その他(純額)	9,363	△ 8,253
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	87,454	102,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 50,342	△ 42,482
固定資産の売却	7,519	5,637
売却可能投資有価証券の売却	74	22
売却可能投資有価証券等の購入	△ 3,505	△ 520
子会社及び持分法適用会社株式の売却(現金流出額との純額)	661	-
子会社及び持分法適用会社株式の取得(現金取得額との純額)	627	654
貸付金の回収	901	1,290
貸付金の貸付	△ 970	△ 576
定期預金の増減	△ 52	443
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 45,087	△ 35,532
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達	88,685	31,266
長期債務の支払	△ 26,566	△ 24,059
短期債務の増減(純額)	△ 61,988	△ 34,023
キャピタルリース債務の減少	△ 17,902	△ 18,791
自己株式の売却及び取得(純額)	157	10
配当金支払	△ 17,431	△ 7,749
その他(純額)	△ 3,199	△ 928
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 38,244	△ 54,274
為替相場変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 2,999	△ 4,804
現金及び現金同等物純増減額	1,124	8,218
現金及び現金同等物期首残高	90,563	82,429
現金及び現金同等物四半期末残高	91,687	90,647

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年9月30日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	569,605	76,358	645,963	—	645,963
(2) セグメント間の内部売上高	1,417	8,331	9,748	△ 9,748	—
計	571,022	84,689	655,711	△ 9,748	645,963
セグメント利益	20,787	3,670	24,457	△ 3,059	21,398

当第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	763,645	96,118	859,763	—	859,763
(2) セグメント間の内部売上高	991	5,431	6,422	△ 6,422	—
計	764,636	101,549	866,185	△ 6,422	859,763
セグメント利益	102,302	6,133	108,435	△ 3,299	105,136

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年9月30日)

(百万円)

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※ ・ オセアニア	中近東 ・ アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	150,732	152,325	62,222	117,739	123,784	39,161	645,963

※日本及び中国除く

当第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

(百万円)

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※ ・ オセアニア	中近東 ・ アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	163,119	196,587	72,138	186,127	192,186	49,606	859,763

※日本及び中国除く

コマツ(6301)平成23年3月期 第2四半期決算短信

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 2009年7月1日 至 2009年9月30日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	284,910	40,625	325,535	—	325,535
(2) セグメント間の内部売上高	631	4,288	4,919	△ 4,919	—
計	285,541	44,913	330,454	△ 4,919	325,535
セグメント利益	13,350	793	14,143	△ 1,214	12,929

当第2四半期連結会計期間（自 2010年7月1日 至 2010年9月30日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	358,439	54,184	412,623	—	412,623
(2) セグメント間の内部売上高	553	3,128	3,681	△ 3,681	—
計	358,992	57,312	416,304	△ 3,681	412,623
セグメント利益	48,037	4,098	52,135	△ 1,336	50,799

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

前第2四半期連結会計期間（自 2009年7月1日 至 2009年9月30日）

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※ ・ オセアニア	中近東 ・ アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	81,973	71,948	26,158	58,325	66,133	20,998	325,535

※日本及び中国除く

当第2四半期連結会計期間（自 2010年7月1日 至 2010年9月30日）

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※ ・ オセアニア	中近東 ・ アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	91,694	95,011	32,386	71,235	94,167	28,130	412,623

※日本及び中国除く

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。